

健全な財政運営を目指して

一般会計の歳入総額は51億7,567万3千円、歳出総額は49億4,509万8千円となり、前年度と比較すると歳入で1億3,534万9千円の減額(2.5%)、歳出では1億2,120万4千円の減額(2.4%)となりました。

前年度と比較して減額となった要因は、歳入では、平成29年度に「にこにこ甘楽」改修工事に借入れ(町債)を行ったものが皆減し、町債が1億6,210万円減額となったこと、歳出では、「にこにこ甘楽」改修工事の皆減により衛生費が2億7,645万6千円の減額となったためです。

町の借金である町債の借入れ額は返済額を下回っていることから、町債の残高は減少し、貯金にあたる財政調整基金をはじめ基金残高も前年度より増えていることから、1年間の財政状況は健全であったといえます。

町の家計簿

キラッと輝くまちづくり

平成30年度の一般会計と特別会計の決算が、町議会9月定例会で認定されましたので概要をお知らせします。 ■企画課財政係 内線243



①

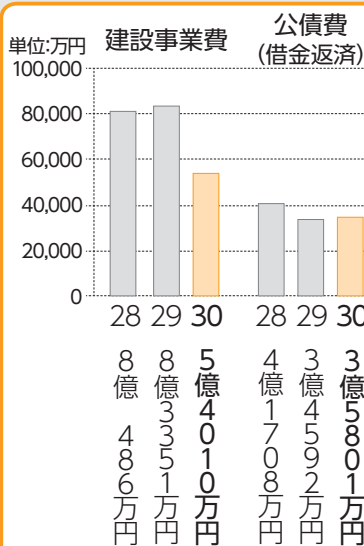
織田宗家七代の墓と周辺の良好な景観形成を目的とした織田公公園。写真は30年度に整備した①織田式塀②トイレ



②

町の財布の中身を4つの視点からチェック

(棒グラフは平成28年度から30年度の推移)

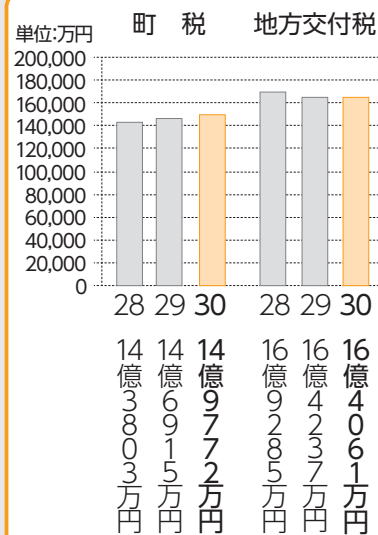


歳出の状況

ムダなく使われたか

建設事業費は「にこにこ甘楽」改修工事や旧一中校舎等解体工事が終了したことにより、35.2%の減少となりました。

建設事業などを行う際に借金をした返済については、甘楽中学校建設に伴う返済が開始されたことにより、3.5%の増加となりました。



歳入の状況

財源は安定しているか

太陽光発電設備の増加や企業誘致による減免措置が終了したことなどにより固定資産税が2.3%増加し、また、税の徴収強化を図ったことにより滞納繰越分が増収し、町税全体では1.9%の増加となりました。

地方交付税は、基準財政収入額にあたる法人町民税所得割など町税が増加したため0.1%の微減となりました。



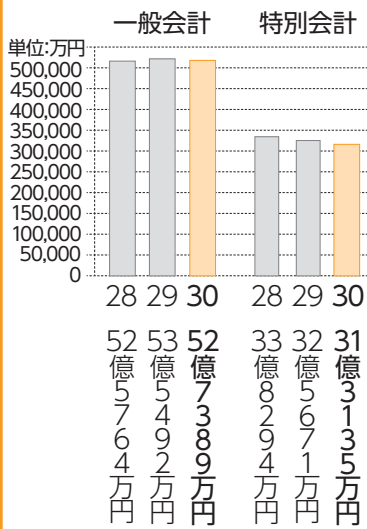
一般会計決算額

歳入 51億7,567万円

●歳入		(単位:万円)		
内 訳	30年度	29年度	対前年比	
自主財源	町 税	14億9,772	14億6,915	1.9%
	使用料および手数料	1億4,036	1億5,207	▲7.7%
	繰入金	6,354	7,724	▲17.7%
	繰越金	2億4,472	2億2,084	10.8%
	諸収入	2億 711	1億4,093	47.0%
	分担金・負担金・財産収入・寄付金	4,554	6,773	▲32.8%
	計	21億9,899	21億2,796	3.3%
依存財源	地方交付税	16億4,061	16億4,237	▲0.1%
	国庫支出金	3億6,830	4億3,720	▲15.8%
	県支出金	3億2,568	3億 897	5.4%
	町 債	2億4,520	4億 730	▲39.8%
	譲与税、交付金など	3億9,689	3億8,722	2.5%
計	29億7,668	31億8,306	▲6.5%	
合 計	51億7,567	53億1,102	▲2.5%	

歳出 49億4,510万円

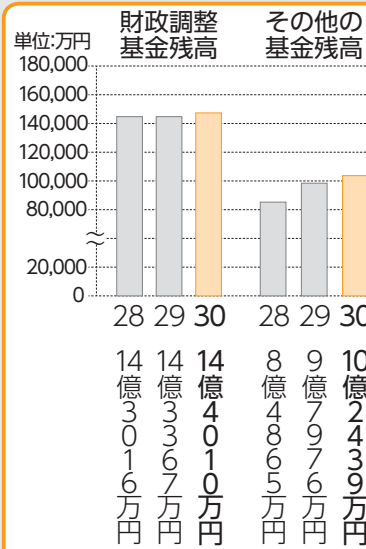
●歳出		(単位:万円)		
内 訳	30年度	29年度	対前年比	
議会費	7,637	7,683	▲0.6%	
総務費	9億6,931	9億6,253	0.7%	
民生費	12億4,050	12億 780	2.7%	
衛生費	3億8,511	6億6,157	▲41.8%	
労働費	2	2	0.0%	
農林水産業費	3億6,796	3億 257	21.6%	
商工費	1億2,924	1億3,386	▲3.5%	
土木費	4億9,542	4億9,583	▲0.1%	
消防費	2億8,548	2億8,416	0.5%	
教育費	6億3,768	5億9,522	7.1%	
災害復旧費	—	—	—	
公債費	3億5,801	3億4,591	3.5%	
合 計	49億4,510	50億6,630	▲2.4%	



返済に努めているか
借金(町債)の残高

一般会計では、30年度に消防団詰所建築工事、甘楽町文化会館の舞台音響設備改修工事などで町債の借入れを行い2億4,520万円の借金をしましたが、元金分の返済額が3億2,623万円でしたので、残高は前年度末に比べて8,103万円の減少となりました。

特別会計では、農業集落排水、公共下水道合わせて1億1,540万円の借金をしましたが、元金分の返済額を下回りましたので、残高は減少しました。今後も後年度の負担を考慮した借入れ、返済に努めます。



もしもの時の蓄えは
大丈夫か 貯金(基金)の残高

30年度に基金に積立てた金額は2億8,460万円です。これは、節約してできたお金や寄付金などを貯金したものです。そのうち、一般家庭の貯金にあたる財政調整基金は、643万円増加して14億4,010万円となりました。

その他の基金残高は10億2,439万円で、基金全体では前年比2.1%増の24億6,449万円となっています。



より詳しい内容を
公開しています

役場と甘楽町図書館（ら・ら・かんら）に決算書を備えてあります。業務時間内に誰でも閲覧することができます。

また、町ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.town.kanra.lg.jp/>

特別会計決算額

(単位：万円)

事業名	歳入総額			歳出総額		
	30年度	29年度	対前年比	30年度	29年度	対前年比
国民健康保険	15億9,392	17億6,679	▲9.8%	15億 641	16億9,280	▲11.0%
介護保険	11億5,292	11億1,485	3.4%	11億3,382	10億9,697	3.4%
農業集落排水	1億6,894	1億5,200	11.1%	1億6,483	1億5,150	11.2%
公共下水道	4億8,820	4億8,236	1.2%	4億8,769	4億8,181	1.2%
後期高齢者医療	1億4,008	1億3,014	7.6%	1億3,998	1億3,000	7.7%

水道事業会計決算額

(単位：万円)

年度	収益的収支（税抜）		資本的収支（税込）	
	収入	支出	収入	支出
29年度	2億4,986	2億2,230	279	1億2,150
30年度	2億4,746	2億2,315	247	1億2,258

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補いました。



甘楽第一産業団地（金井）の配水管布設工事で設置した消火栓

監査委員の視点

『平成30年度 甘楽町決算審査に思う』

代表監査委員 山田利和

元号が「平成」から「令和」に改まり、国民の誰もが平和で希望にあふれた時代になることを願っていることでしょう。

さて、平成30年度の決算審査も去る8月21日から3日間実施し、所定の手続きに基づき審査した結果、一般会計並びに各特別会計は予算編成方針の趣旨に沿った適正な事業運営がなされ、健全財政に努力されたことが認められました。

1. 歳入について

町税の収納状況は、収納率が97・0%と昨年よりも1.2%上昇しているとともに前年度よりも不納欠損額が大幅に減少しているため、収納対策に成果が認められます。関係職員の皆さまに敬意を表するものです。引き続き不納欠損処分に至らぬよう個々の状況を十分に調査のうえ、その処分については引き続き厳正に運用するよう要望します。

2. 歳出について

今後、社会情勢や厳しい財政状況をしっかりと認識し、経費の節減に向け事務事業の簡素化・効率化を図り、費用対効果を考慮のうえ補助事業の見直しにも積極的に取り組まれます。

世界全体の政治や経済が大きく変動している時代の中で、日本は安定しているかのように思われますが、厳しい状況にあることは明白です。特に日本は過去に経験のない人口減少という課題を抱え、大きな転換期を近い将来迎えるときが来ています。より厳しい財源の中でも住民の福祉の増進に努め、最小の経費で最大の効果を挙げられるよう創意と工夫をもって予算執行をしていただき、常に組織および運営の合理化に努め、ほかの地方公共団体や民間の協力とともに規模の適正化を図ることが望まれます。



決算書類の審査
山田利和代表監査委員（右）
山崎澄子監査委員（中央）